

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

コメント

1 インフルエンザ

定点当たり3.80人の報告があり、前週の約2.4倍に増加しました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が第43週に1件報告されました。手洗いの励行、咳エチケット、換気など、感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第43週 A型:38人、B型:0人

2 マイコプラズマ肺炎

定点当たり4.83人の報告があり、多い状況が続いています。(次ページ参照)

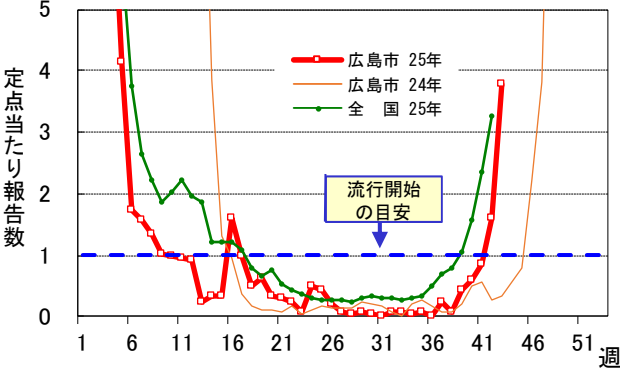
3 流行性角結膜炎

定点当たり2.75人と、多い状況が続いています。アデノウイルスを原因とする急性の結膜炎で、感染力が強く、小児から大人まで幅広い年齢層で見られます。手洗いの励行、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

4 百日咳

14件の報告があり、減少傾向ですが、例年より多い状況が続いています。乳児は重症化リスクが高く、特に注意が必要です。予防にはワクチン接種が有効です。定期接種対象者は早めに接種を受けましょう。

インフルエンザの流行状況



定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均（注） 過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均（注） 過去5年間	発生記号	急増減	前週と比較しておおむね 1:2以上の増減
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	2070	59.14			小児科	突発性発しん	2	0.09	0.27		増減	前週と比較しておおむね 1:1.5～2の増減
	インフルエンザ	133	3.80	3.83			ヘルパンギーナ	3	0.14	0.63		微増減	前週と比較しておおむね 1:1.1～1.5の増減
	新型コロナウイルス(COVID-19)	53	1.51				流行性耳下腺炎	3	0.14	0.03		横ばい	ほとんど増減なし
小児科	RSウイルス感染症	29	1.32	0.12		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05			
	咽頭結膜熱	4	0.18	0.53			流行性角結膜炎	22	2.75	0.63			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	58	2.64	1.18		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-			
	感染性胃腸炎	74	3.36	2.71			無菌性髄膜炎	1	0.17	-			
	水痘	7	0.32	0.11			マイコプラズマ肺炎	29	4.83	1.23			
	手足口病	13	0.59	1.31			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			
	伝染性紅斑	16	0.73	0.04			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03			

急性呼吸器感染症(ARI) 定点数 (内科・小児科)	35
小児科 定点数	22
眼科 定点数	8
基幹 定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均
(定点当たり)

全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	28	20歳代・O血清群不明、40歳代・O血清群不明
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	15	70歳代
5	梅毒	1	127	30歳代
5	百日咳	14	987	10歳未満・3人、10歳代・3人、20歳代・1人、30歳代・2人、40歳代・2人、60歳代・2人、70歳代・1人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	(COVID-19) 新型コロナウイルス	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)
報告数	広島市	第39週	1,972	15	179	23	5	49	81	3	13	31	7	1	-	-	26	-	1	26	-	-
		第40週	2,138	21	147	25	5	48	102	5	10	24	6	1	2	1	21	-	-	22	-	-
		第41週	2,305	30	100	52	5	47	87	10	14	37	11	6	-	-	24	-	-	25	-	-
		第42週	1,858	56	71	43	10	32	73	3	11	19	6	2	1	-	16	-	1	38	-	-
定点当たり	広島市	第43週	2,070	133	53	29	4	58	74	7	13	16	2	3	3	-	22	-	1	29	-	-
		第39週	56.34	0.43	5.11	1.05	0.23	2.23	3.68	0.14	0.59	1.41	0.32	0.05	-	-	3.25	-	0.17	4.33	-	-
		第40週	61.09	0.60	4.20	1.14	0.23	2.18	4.64	0.23	0.45	1.09	0.27	0.05	0.09	0.13	2.63	-	-	3.67	-	-
		第41週	65.86	0.86	2.86	2.36	0.23	2.14	3.95	0.45	0.64	1.68	0.50	0.27	-	-	3.00	-	-	4.17	-	-
全国		第42週	53.09	1.60	2.03	1.95	0.45	1.45	3.32	0.14	0.50	0.86	0.27	0.09	0.05	-	2.00	-	0.17	6.33	-	-
		第43週	59.14	3.80	1.51	1.32	0.18	2.64	3.36	0.32	0.59	0.73	0.09	0.14	0.14	-	2.75	-	0.17	4.83	-	-
		第41週	60.06	2.36	3.71	1.63	0.26	1.92	3.92	0.22	0.36	1.25	0.28	0.45	0.05	0.02	1.06	0.01	0.06	1.53	0.01	0.01
		第42週	52.48	3.26	2.57	1.26	0.22	1.51	3.42	0.18	0.28	0.95	0.26	0.25	0.04	0.01	0.91	0.03	0.05	1.44	0.01	-

■ 病原体検出状況(ARIサーベイランス)

感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

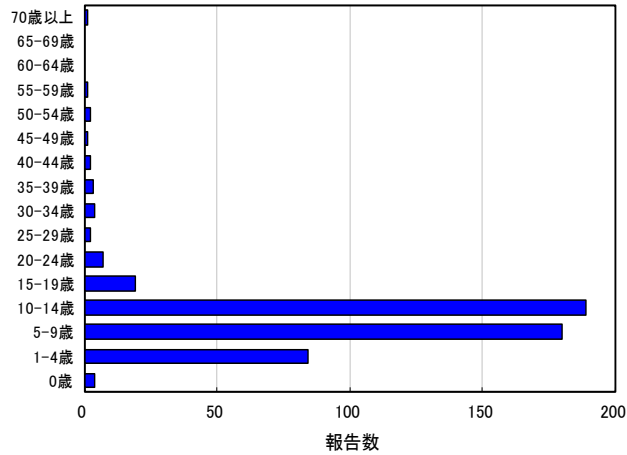
検体採取週	検査検体数	陽性検体数*	A(H1N1)2009型 インフルエンザウイルス	インフルエンザウイルス A(H3)型	B型インフルエンザウイルス (ビクトリア系統)	B型インフルエンザウイルス (山形系統)	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	A型RSウイルス	B型RSウイルス	ヒトメタニューモ ウイルス	パラインフルエンザ ウイルス1型	パラインフルエンザ ウイルス2型	パラインフルエンザ ウイルス3型	パラインフルエンザ ウイルス4型	エンテロウイルス	ライノウイルス	アデノウイルス
第38週	18	15					9	3				2			2	2	
第39週	9	5						2				1			2		
第40週	21	15	1				5					1			10	3	
第41週	18	8					1	1			2				4	1	
第42週	12	9		2			1	1			2	1			3	1	

* 同一検体からの複数ウイルス検出例を含む(検査:広島市衛生研究所)

詳しくはホームページで [広島市 病原体](#) 🔍 検索

【参考】広島市におけるマイコプラズマ肺炎の年齢階層別報告数(2025年累積)

基幹定点からのマイコプラズマ肺炎 年齢階層別報告数
2025年累積(第43週現在)



広島市における基幹定点からのマイコプラズマ肺炎累積報告数(499件)を年齢階層別にみると、10-14歳が189件(37.9%)と最も多く、次いで5-9歳が180件(36.1%)、1-4歳が84件(16.8%)となっています。

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマという細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症で、小児や若い人の肺炎の原因として、比較的多いものの一つです。

主な症状は、発熱や全身の倦怠感(だるさ)、頭痛、咳などの症状がみられます(咳は少し遅れて始まることもあります)。咳は熱が下がった後も長期にわたって(3~4週間)続くのが特徴です。

感染経路は、飛沫感染と接触感染です。手洗い、咳エチケット、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp